



2018.8.1



文字

小

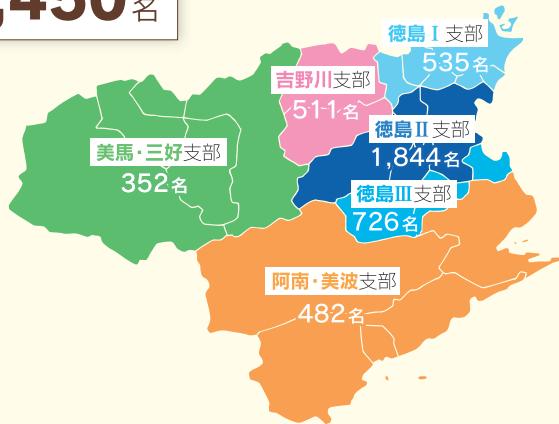
標準

大

| ホーム | アクセス | お問い合わせ | プライバシーポリシー | サイトマップ |

検索

x

8/1
現在 平成30年度
会員数**4,450名**

(スマートフォン対応)

Web 受講

協会ニュース「和」

日本看護協会

日本看護協会出版会

■ CONTENTS

会長挨拶	2
平成30年度 表彰	2
平成30年度 徳島県看護協会通常総会	3
平成30年度 役員・委員名簿	3
平成30年度 日本看護協会通常総会	5
平成30年度 全国職能別交流集会	5
第49回日本看護学会	6
輝く戦士!!ナースマン	8
2018年看護の日・看護週間行事	10
入会特典	10
ナースセンターだより	11
ワンポイントアドバイスNo.35	12
訪問看護普及フォーラム	12
会員専用WEBサイト「キャリナース」のご案内	12
編集後記	12

会長挨拶



会長 多田 敏子

公益社団法人徳島県看護協会の会員の皆様、日ごろは大変お世話になり、誠にありがとうございます。今年もまた、大阪を中心とした地震、7月には西日本を中心に豪雨による広範囲の災害（平成30年7月豪雨災害）がありました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りし、被災された方、復旧にご尽力されている方々に、心よりお見舞い申し上げます。徳島では、南海トラフによる災害の危険性も高まっています。被災時の看護職の役割は重要です。皆様の災害の備えはいかがでしょうか。看護協会では災害派遣ナースの養成・登録をご協力いただいております。今後ともよろしくお願ひいたします。

また、7月19日、20日に行われました日本看護学会—精神看護—学術集会では、皆様に大変お世話になりました。学術集会準備委員、抄録選考委員、協力員等、概ね150人の方に、ご支援ご協力いただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、日本看護協会ニュース等、看護協会の情報は皆様のところに届いていますでしょうか。職能団体である看護協会は、会員の皆様のニーズに応える活動を、皆様の力で推進することができます。同時に、公益社団法人でもありますので、看護協会会員以外も含めた地域社会に貢献できる事業も推進する役割があり、取り組んでいます。

この度は、県協会の課題を二つ、皆様と共有したいと思います。一つは、県協会の会館の保守です。昭和62年竣工で、築後30年を経過しました。会員の皆様からのご支援により、建設されました。しかし、最近は老朽化により不具合が多々生じ、研修時など皆様方にもご迷惑をおかけすることもあります。どのように保守するのか、改築の規模、他施設の活用等を、会館の使用状況も踏まえて検討しているところです。もう一つは、事業内容です。徳島県の看護協会会員数は、就業届け者数に対する割合でみると約35%で、全国最下位です。看護職の皆様のニーズに応えることができる事業内容になっているのだろうかと、自問しているところです。保健医療福祉を取り巻く環境は、大きく変化しています。地域包括ケアシステムの構築も進んできました。そういった中で、看護職能団体としての役割は重要です。看護師、助産師、保健師、准看護師がそれぞれに連携する必要があります。とりわけ、市町村の保健師さんとの連携も不可欠です。それぞれの職場、職種を超えて連携し合うことができる場が、看護協会であると思います。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

おめでとうございます

平成30年度 表彰



医療功労賞
鳶ヶ巣千代子 様

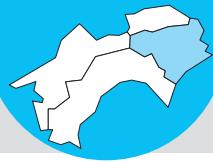


徳島県知事表彰
矢部 公子 様



日本看護協会会長表彰
森山 節子 様

平成30年度



公益社団法人 德島県看護協会

通常総会開催

平成30年

日時 6月2日(土) 9:30~12:30

平成30年度

〈重点目標〉

- 1 地域包括ケアにおける看護機能の強化
- 2 専門性を高める生涯教育の推進
- 3 健康で安全に働き続けられる職場環境づくり
- 4 社会の期待に応える地域活動
- 5 看護基礎教育制度改革の推進
- 6 本会の目的を達成するための基盤整備

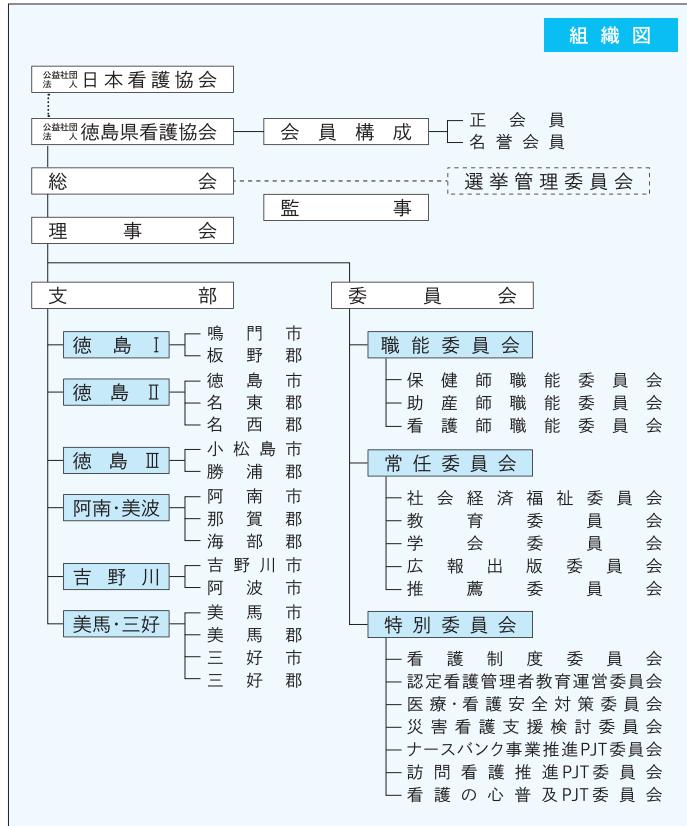
〈議 案〉

- 第一号議案 平成29年度決算報告(案)及び監査報告
 第二号議案 平成30年度役員及び推薦委員の改選並びに平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について

平成31年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補の選出について

職種	代議員	予備代議員1	予備代議員2
保健師	横山 敦子	緒方 静子	稻井 芳枝
助産師	上田 美香	西川 良江	今崎 順子
看護師I	折村 秀美	日野出裕美	郡 利江
看護師II	堀江 和枝	藤高 公子	梅津 友紀
准看護師	佐野ミチ子	田村 浩子	



常任委員

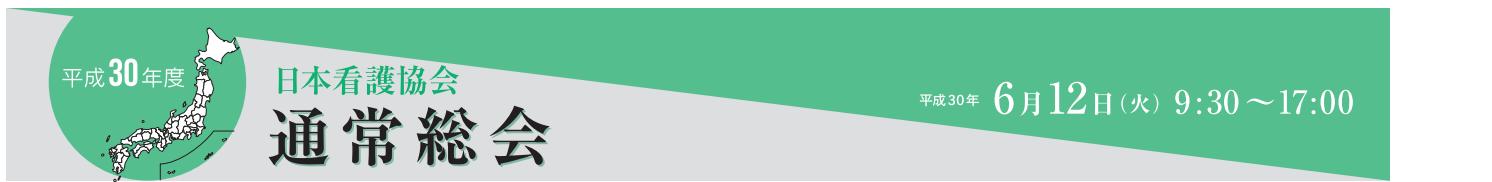
	職能	氏名	勤務先
社会経済福祉委員会	保	・西谷範子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
	保	國見華子	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助	山田良恵	つるぎ町立半田病院
	助	・迎久視子	吉野川医療センター
	看	岡田美千子	亀井病院
	看	・浜百合	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	保	森明香	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
	保	中尾陽子	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助	大畠きさえ	徳島市民病院
	助	雨堤京子	徳島県立総合看護学校
教育委員会	看	・幸田史恵	徳島健生病院
	看	・前川輝実	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	看	・篠原貴子	徳島県立中央病院
	看	・長谷奈生己	徳島大学病院
	看	橋本久美子	徳島赤十字病院
	看	・松尾恭子	四国大学看護学部
	看	小林和恵	阿波病院
	看	・堀江江美子	吉野川医療センター
	看	黒川布美	独)国立病院機構東徳島医療センター
	看	南川貴子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
学会委員会	看	・松倉孝司	TAOKAこころの医療センター
	看	・比松利江	阿南中央病院
	保	・三ツ川恵美子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
	助	鈴江浩子	阿南共栄病院
	助	森脇智秋	徳島文理大学保健福祉学部
	看	・谷洋江	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看	・町田美佳	徳島赤十字病院
	看	谷口啓子	徳島大学病院
	看	・高瀬季美	独)国立病院機構東徳島医療センター
	機関紙発刊・広報出版委員会	・多田美由貴	徳島大学大学院医歯薬学研究部
ホームページ委員会	保	湯浅舞	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助	青山照代	徳島赤十字病院
	看	・高田泰正	徳島県立中央病院
	看	石川早由里	阿南中央病院
	看	・兼松史枝	徳島市民病院
	看	・岡崎和世	徳島県立三好病院
	看	住友聖子	独)国立病院機構東徳島医療センター
	保	野口環	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保	・原美智代	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助	後藤さおり	徳島大学病院
推薦委員会	助	・武内恵美子	徳島県立三好病院
	看	・勝瀬昌代	徳島県立海部病院
	看	多田量子	徳島県立中央病院
	看	武田恵美子	吉野川医療センター
	看	西浦勝子	徳島市民病院
	看	・大竹浩美	徳島県鳴門病院
	看	・瀧口祐子	徳島赤十字病院
	看	・	
	看	・	
	看	・	
認定看護管理者教育運営委員会	看	大岡裕子	徳島文理大学保健福祉学部
	看	木田菊惠	田岡病院・きたじま田岡病院
	看	森恭子	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	看	庄野泰乃	徳島赤十字病院
	看	岩佐幸恵	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看	松村康代	徳島県看護協会
	看	郡利江	徳島県看護協会
	看	久次米清子	徳島県鳴門病院
	看	藤本博美	独)国立病院機構徳島病院
	看	後藤田景子	徳島県立中央病院
医療・看護安全対策委員会	看	真柴敦子	徳島市民病院
	看	葛籠比佐美	吉野川医療センター
	看	早渕由美	徳島赤十字病院
	看	原田路可	徳島大学病院
	看	郡利江	徳島県看護協会
	保	稻井芳枝	徳島県看護協会
	保	浦西由美	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	岩本里織	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看	西カズ子	つるぎ町立半田病院
	看	藤本華織	徳島赤十字病院
災害看護支援検討委員会	看	仁木祐江	吉野川医療センター
	看	橋本佳世子	徳島市民病院
	看	久美月	阿南中央病院
	看	西村三千代	徳島県鳴門病院附属看護専門学校
	保	浦西由美	徳島県保健福祉部医療政策課
	助	水田克子	徳島県立総合看護学校
	看	山川淳子	天満病院
	看	西村久美子	阿波病院
	看	大下千鶴	川島病院
	看	三木満理子	阿南中央病院
オースパク事業推進プロジェクトチーム委員会	看	住吉貴美	徳島県看護協会
	保	湯浅香苗	徳島県東部保健福祉局(吉野川保健所)
	看	郡利江	徳島県看護協会
	看	松川恵美	徳島県立中央病院
	看	佐藤由美	独)国立病院機構徳島病院
	看	藤原稔章	藍里病院
	看	近藤由江	徳島市民病院
	看	入江賀誉子	ほまれ訪問看護ステーション
	看	新田かおる	きたじま田岡病院
	看	神野文枝	とくしま健生訪問看護ステーション
訪問看護推進プロジェクトチーム委員会	看	伊達朋子	徳島県看護協会
	保	稻井芳枝	徳島県看護協会
	保	浦西由美	徳島県保健福祉部医療政策課
	看	町田美香	徳島県立海部病院
	看	千田幸代	阿南共栄病院
	看	橋本幸子	徳島市民病院
	看	松崎和代	徳島赤十字病院
	看	日野出裕美	徳島県鳴門病院
	看	三木満理子	阿南中央病院
	看	大古幾子	つるぎ町立半田病院
看護の心普及プロジェクトチーム委員会	看	西村久美子	阿波病院
	看	名西明美	徳島県立三好病院
	看	・	
	看	・	
	看	・	
	看	・	
	看	・	
	看	・	
	看	・	
	看	・	

特別委員

	職能	氏名	勤務先
看護制度委員会	保	緒方静子	徳島県看護協会
	保	中川有美子	徳島県保健福祉部医療政策課
	看	浅野弘子	徳島県立総合看護学校
	看	日野出裕美	徳島県鳴門病院
	看	森恭子	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	看	三木満理子	阿南中央病院
	准	浜口文代	老人保健施設昇
	看	・	
	看	・	
	看	・	

支部長	支部名	支部長名	勤務先
美馬・三好支部	・長尾春美	つるぎ町立半田病院	
吉野川支部	・三木真澄	吉野川医療センター	
徳島支部Ⅰ	日野出裕美	徳島県鳴門病院	
徳島支部Ⅱ	橋本幸子	徳島市民病院	
徳島支部Ⅲ	松崎和代	徳島赤十字病院	
阿南・美波支部	・千田幸代	阿南共栄病院	

・印の方は平成30、31年度任期



平成30年 6月12日(火) 9:30～17:00

平成30年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

保 横山 敦子	徳島県精神保健福祉センター
助 上田 美香	徳島大学病院
看 折村 秀美	田岡病院
看 堀江 和枝	稲次病院
准 佐野 ミチ子	独) 国立病院機構徳島病院

日本看護協会通常総会に参加して

看護師職能委員会 委員長 折村 秀美

「生きるを、ともに、つくる。」日本看護協会は昨年創立70周年を迎える、看護職の役割と看護協会の決意表明として、ダグラインを策定した。医療政策・看護政策は地域の時代であり、看護職が地域包括ケアシステムの一翼が担える制度実現に向けた重点政策が伝えられた。

報告

平成30年度 全国職能別交流集会

平成30年 6月13日(水) 9:30～16:00

保健師職能集会

「母」でなく「父」でなくて「親」になる～それを支える保健活動～

保健師職能委員長 横山 敦子

保健師関連重点事業についての説明では、昨年度に引き続き「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」を柱として、①看護管理者及び行政保健師の機能強化と連携の推進②包括的な母子支援のための看護機能強化が具体的な事業としてあげられました。

特別講演では、精神科医の鷺山拓男先生から、「ヒトは両親以外の多くの個体が子育てにかかわる『共同繁殖』の動物であり、地域社会は子育ての責任主体であること」や、「保健師には地域住民と行政の力を合わせ、子育て家庭を地域社会に繋ぐ保健活動を発展させることができることを熱い口調で話されました。

また、その後のシンポジウムでは、「保健師は長い歴史の積み重ねや叡智、工夫を集め、一つひとつの家庭をサポートできる体制をつくることができる」「地域のいろいろな活動と繋がることこそが地域で子どもと親を支えることになること」「人と人の繋がりから虐待予防の取組を続けている」といった意見や活動報告がありました。

交流集会に参加して、児童虐待に限らず、保健師が家庭訪問により早期発見することや、関係機関と連携した地域づくりを進めることにより健康問題を予防していくことが重要であると改めて実感しました。

看護師職能集会Ⅰ

変化する医療提供体制に応じた看護職の役割拡大と役割発揮

看護師職能委員会 看護師職能I病院領域 折村 秀美

看護師職能委員会Ⅰでは医療提供体制の変化に病院領域の看護職が対応するため、在宅療養支援や看護師のキャリア等をテーマに活動を進めています。今年度は病棟内の多職種連携における看護の専門性の更なる発揮に向けて情報収集・課題発見・意見集約を行います。また地域包括ケアシステムの構築が進められ、あらゆる分野で活動する看護管理者にも新たな役割が期待されています。改めて看護と看護の連携強化に向けた取り組みについても展開が必要になってきます。情報提供では勝又理事より『保健師助産師看護師法から読み解く看護師の役割』と題して社会や医療ニーズの変化に応じ、安全で質の高い看護を効率的に提供できる体制整備が重要であると説明がありました。特別講演は『患者の幸せの最大値を目指す専門職倫理とは』と題して臨床心理士の金城隆展氏から「尊厳を守る医療とは選択できることであり、その人らしさこそが尊厳である」と話がありました。看護のリレートークでは「看護が看護であるために～時代に合わせて変化する役割～」看護の様々な場で活躍する視点の活動報告がされました。新たな認定看護師制度再構築については荒木常任理事より検討過程の報告と今後の進め方等の説明がありました。

助産師職能集会

母子の安全・安心な出産環境の提供や助産実践能力強化のために

助産師職能委員長 上田 美香

平成30年度の助産関連事業は、「子育て世代包括ケアシステムにおける看護機能の強化」「安全・安心な出産環境の体制整備の推進」「周産期医療体制整備と助産実践能力強化」であり、それぞれの課題発見、意見集約が活動目標としてあげられています。

また、「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」の見直しの経緯や、ガイドラインの概要と今後の活用についての説明がありました。その中で印象に残っているのは、院内助産や助産師外来で行う助産師主導の妊娠婦ケアは、正常経産分娩を増やし、早産や胎児死亡が少なくなることが実証済みで、助産師主導の妊娠婦ケアの安全性が報告されているという言葉でした。助産師として専門性を發揮できる場は「院内助産」や「助産師外来」です。ガイドラインの周知、普及、活用により院内助産・助産師外来の標準化を図り安全で安心な出産環境を提供できることが母子の健康を守り、さらには助産師の活躍の場、モチベーションの維持に繋がります。

今後も、母子の健康な生活の実現に向けて、すべての妊娠婦と新生児およびその家族へ助産師のケアを提供するという基本理念の実現にむけ、今後も積極的に活動していきたいと考えます。

看護師職能集会Ⅱ

【暮らしの中で働く看護職】に求められる、医療・看護のあり方

看護師職能委員 堀江 和枝

看護師職能集会Ⅱ領域では、「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」の中で、在宅・施設等の長期療養者を支える看護の機能強化を重点政策として取り組んでいますが、特定行為研修による課題、看取り期の救急搬送、ICTを利用した死亡診断書の取り扱いなど、施設の取り組みや考え方・家族の思いなど、看護職だけでは解決できない課題が山積していることを痛感しました。

「人生の最終段階における医療」に関する最近の動向と看護職に求められる事」として、事前指定書を書くことだけが目標ではなく、本人家族等の意見を繰り返し聞きながら、本人の尊厳を追求し、自分らしく最期まで生き、より良い最期を迎えるために人生の最終段階における医療・ケアを進めていくことが重要であることを改めて確認しました。

「人を繋げる言葉の力」と題した講演では、患者の経験から、適切な言葉遣いやさやかな配慮、患者に寄り添う聴く姿勢、話しかけやすい笑顔と相手の人間性を尊重したコミュニケーションが、患者家族との良質な関係を作る基本であるとの内容であり、日頃の多忙な業務の中で、最も重要な看護の役割であることを再認識しました。

第49回日本看護学会－精神看護－学術集会に参加して

学術集会準備委員会委員長 TAOKAこころの医療センター 武市 佳余子

平成30年7月19日(木)・20日(金)に「あわぎんホール」で第49回日本看護学会－精神看護－学術集会が開催されました。2日間の開催で、1,319名(延べ人数)の参加があり、多くの皆様のご協力を得て盛会に終了することができました。

徳島での開催が、日本看護学会平成30年度における初めての学術集会でした。

精神看護の歴史を振り返り、「時代・地域・心の壁を乗り越える」をメインテーマに、「藍」の里から、「愛」をもって、「私(アイ)」が支えるを副題に基調講演、教育講演、シンポジウム、交流集会を通してこれから的精神看護の在り方について再認識する機会となりました。

また、運営スタッフサイン用に障がい者施設で作成した「藍染のコサージュ」や「藍入りの飴」も今回のテーマに沿った素晴らしい企画とのお声かけもたくさん頂きました。

基調講演は「あらゆる場におけるライフサイクルを踏まえたメンタルヘルス」と題して日本看護協会福井トシ子会長から、「看護職が健康に働き続けていくためには、ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)の考え方方が重要であり、組織と個人、そして社会が一丸となって一人一人の健康づくりに取り組む必要がある」と情熱あふれる講演内容でした。

教育講演は金沢大学附属病院前副病院長・看護部長小藤幹恵氏による「心も体も抑制しない看護へのチャレンジ～患者に寄り添い愛のあるケアを考える～」と題して、一般病棟、精神病棟で身体抑制を0(ゼロ)に、さらに現在も院内全体で抑制帯等を使用していない、専門性の高い看護の取り組みについて教えていただきました。

シンポジウムⅠは「精神看護に対する心の壁を乗り越える」、シンポジウムⅡでは、「地域でくらすということ～みんなで支え合うために～」と題して、それぞれの立場から熱い討論がされました。

交流集会は「認知症患者へのチームアプローチの成果と展望」について多くの参加者のとも意見交換が行われました。

研究発表には口演・示説合わせて118演題の発表があり、テーマは行動制限最小化、認知症ケア、勤務環境、地域支援移行など多岐にわたり、精神看護について学び、考え、情報を共有する機会の場にしていただけたと考えております。

皆様方のご協力とご支援により、無事終了することができましたことを心からお礼申し上げます。



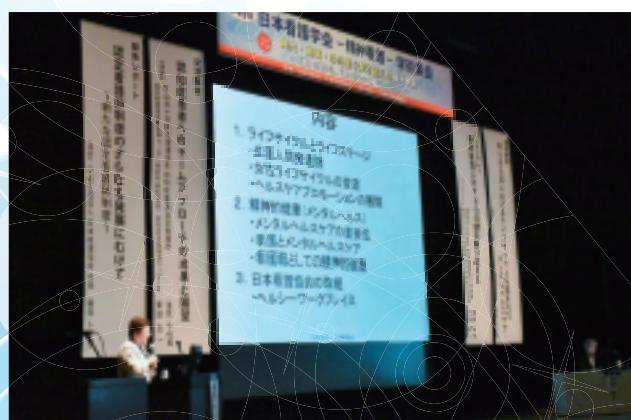
受付



開会式



メインテーマ



基調講演



阿波おどり



会場の様子



交流集会



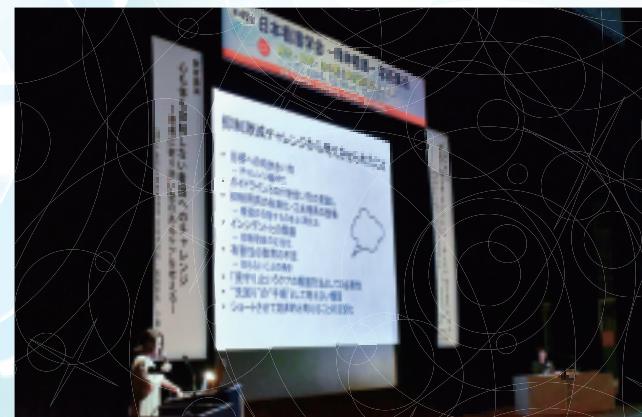
口演発表



示説発表



シンポジウムⅡ



教育講演



ランチョンセミナー



クローケ



休憩



患者の笑顔を見るために



たまき青空病院
桑内 淳二

私は老人介護施設で介護士をしていました。看護師を志すきっかけとなったのは子供が病気になり入院した際の看護師の動きや言動を見たことでした。自分もそうなってみたいと思い、35歳という年齢でありましたが学校に通って看護師となり、現在は病棟で忙しく働いています。患者から「あんたは優しいな。ほんまにありがとう」と笑顔で言ってくれることが一番嬉しいです。その笑顔を見るために全力で頑張ろうと思っています。

気が付けば医療現場で30年を経過



たまき青空病院
石田 ゆうき

私の看護師への道は昭和62年に田蒔病院(現在のたまき青空病院)で透析室の看護助手より始まりました。最初はなかなか仕事に慣れるのに大変でしたが、先輩に「3日、3週間、3ヶ月…と3がつく度に慣れてくるから頑張りなさい。」と励ましていただきました。

「そんなもんだろうかな?」と最初は今日で〇〇日…と数えておりましたが、ふと気が付けば30年が経過しております。今も透析室の現場で頑張っております。

充実と成長



徳島赤十字病院
手術室
松尾 浩希

看護師となり、今年で5年目となりました。当院での臨床研修看護師制度を終え、1年間整形外科病棟で勤務して2年目から今まで手術室で勤務しています。断らない医療の実践のため、緊急手術も多く多忙な日々ですが、毎日が充実し自らの成長を感じられる日々です。現在、7か月になる息子が大きくなった時に「パパ、カッコイイ」と言ってくれる仕事ができるように頑張っています。

質の高い看護を目指して



城西病院
上田 健人

昨年の春に、看護大学を卒業し看護師の資格を取得しました。大学3年時に行った精神看護実習がきっかけで、精神科に進もうと思いました。精神科病棟でも、認知症や高齢患者様の割合が増えたりさまざまな課題があります。しかし、元気になって退院されている患者様の笑顔を見るとすごくやりがいを感じます。患者様に、よりよい看護が提供できる看護師になれるよう努力したいです。

～より良い看護を目指して～



徳島大学病院
SCU勤務
貝出 直文

SCU(脳卒中センター)に入職し5年目になりました。脳卒中急性期から回復期まで患者さんの治療やリハビリに携わっています。入職当初は目の前の患者さんのことでいっぱいになり、周りが見えなくなることもありましたが、今ではリーダーや指導ナースを任される機会も増えてきました。患者さんや家族の思いを聴き、多職種と連携して急性期から転院・退院を視野に入れた看護ができるような看護師を目指し、日々研鑽を積んでいます。

日々精進



三好病院
真鍋 卓也

今年で看護師7年目になりました。入職して以来、集中治療室などの急性期病棟を中心に働かせていただきましたが、今年度より初の異動で手術室勤務となりました。数多の手術器材や特殊な手術体位、手術看護など、私にとって未知の世界に飛び込み、毎日慌ただしく過ごしています。知識や技術の習得はもちろんのこと、体力や精神力の強さも求められる職場ですが、優しくも頼もしい同僚に支えられ、日々の業務をこなしています。手術看護師としてはまだまだ未熟者ですが、患者さんが少しでも安心して手術が受けられるよう努めています。

同期を大切に!!



TAOKA
こころの医療センター
平岡 勇

私は、4月よりTAOKAこころの医療センターに入職した新卒ナースマンです。現在認知症病棟に配属になり、先輩ナースの丁寧な指導の下看護技術・コミュニケーション技術を学び、患者様のニーズに合った看護を行えるよう日々自己研鑽に励んでいます。その上で日々の成長に同期の存在はとても大きいと思っています。同期は私を含めて8名おり、定期的に同期会を開催して交流を深めたり、時には互いに切磋琢磨しています。この同期と共にたくさんの壁を乗り越え、今後の医療・看護を引っ張っていくナースマンを目指したいと思います。

～笑顔のために日々精進～



川島病院
小川 昌平

看護師をしていて一番達成を感じる時、それは患者の「笑顔」を見た時だ。しかし、笑顔をみるのはとても大変だ。

知識がなく不安なまま患者のもとにいくと、その不安は伝染し患者自身もさらに不安になる。

逆にたくさん学び自分の知識とてきたなら、自信をもって患者のもとにいくことができる。

そうすれば患者の不安を取り除くことができ自然と笑顔も増えてくる。「笑顔」という最高のご褒美をもらうために、これからも日々精進し努めていきたいと思う。

～それゆけ!バイキンナース～



徳島市民病院
感染対策室
感染管理認定看護師
金丸 昌史

看護師7年目にキャリア支援を受け、平成27年に感染管理認定看護師の資格を取得しました。感染リスクを最小限にするために、感染管理のPDCAサイクルを稼働させています。

感染対策室での専従勤務も3年目となり、院内で少しづつ認知されるようになりました。「バイキンナース。この菌の時はどうしたらいいんで!?」と皮肉交じりの愛称で声をかけてくれる医師も増えてきました。認定看護師として高度な看護技術と実践力を持って、医療にかかわる全ての人々の感染リスクを軽減するため努力したいと思います。



報告

2018年 看護の日・看護週間行事

『看護の心をみんなの心に』をメインテーマに、より多くの地域住民の方に看護の心・ケアの心を知っていたいだきたいと、今年も県下30施設2支部と看護師等養成所5校で健康チェックや健康相談をはじめ、様々なイベントを開催しました。毎年楽しみにしてくださる方や、日頃施設に縁のない方なども多数足を運んでくださり、総数延べ5,530名の参加がありました。

イベント実施施設一覧

阿南共栄病院 / 阿南中央病院 / 阿波病院 / 阿南天満クリニック / 伊月病院 / 稲次病院 / 江藤病院 / きたじま田岡病院 / 小松島病院 / 近藤内科病院 / 四国大学看護学部看護学科 / 田岡病院 / つるぎ町立半田病院 / 手束病院 / 天満病院 / 徳島健生病院 / 徳島県鳴門病院 / 德島県鳴門病院附属看護専門学校 / 德島県立海部病院 / 德島県立中央病院 / 德島県立総合看護学校第一看護学科 / 德島県立総合看護学校第二看護学科 / 德島県立三好病院 / 德島市民病院 / 德島赤十字ひのみね総合療育センター / 德島大学病院 / 德島大学医学部保健学科 / 德島平成病院 / (独)国立病院機構徳島病院 / (独)国立病院機構東徳島医療センター / (独)国立病院機構東徳島医療センター附属看護学校 / 中洲八木病院 / 美波町国民健康保険日和佐診療所 / 南徳島クリニツク / リハビリテーション大神子病院 / 德島支部Ⅲ / 吉野川支部



阿波病院〔フラダンス〕



田岡病院〔健康チェック・健康相談〕

徳島県立総合看護学校第一看護学科
〔阿波踊り体操〕徳島県立中央病院
〔ハラーンアート体験〕

県内各施設でのイベントが、それぞれの地域で定着し、看護の心を十分に発信してくれています。そこで、今年度の中央行事は、これから超高齢者社会を担う方々に看護職からメッセージを送り、「看護職になるための説明会」も実施しました。

高校生、保護者等178人が、認知症の人への接し方や、新人看護師の体験談や看護の魅力、中堅看護師の仕事内容ややりがいについての話に熱心に耳を傾けてくれました。

県内の看護師等養成所のプレゼンや、県の修学金についての説明、採血体験等も好評でした。



看護職になるための説明会風景



採血体験

入会特典

1 1年間の一般研修無料受講

新入会の方は当該年度に限り、一般研修が無料で受講できます。

2 看護職賠償責任保険制度への任意加入

万が一の場合は保障のみではなく、専門家による相談が受けられます。

3 研修応援ポイント

1日研修で2ポイント、半日研修でも1ポイント、ポイントがたまつたらポイントに応じて研修が1回無料で受けられます。

4 書籍購入割引

平成29年度からの会員特典について、参照

5 協会の備品貸出

看護技術演習用シミュレーター等



6 図書室の活用

キャリナースで文献検索

7 看護職へのあらゆる相談に対応

8 学会への参加

入会と同時に学会員です

9 機関紙の配布

協会ニュース「和」



10 各種表彰制度

ナースセンターだより



★ ハローワーク巡回相談増設

看護職の求人・求職相談を毎月1回ハローワークで実施しています。

6月からハローワーク吉野川、7月からハローワーク小松島でも巡回相談を始めました。

「復職への不安」「ライフスタイルに合った職場を見つける」「看護の道に進みたい」等

実施場所

ハローワーク徳島	ミニ就職面接会開催時 13:30～15:30
ハローワーク三好	第4水曜日 11:00～12:00
ハローワーク阿南	第3月曜日 10:00～12:00
ハローワーク吉野川	第3月曜日 11:00～12:00
ハローワーク小松島	第3水曜日 10:00～12:00

ナースセンターは、看護職の求職者、看護職を必要とする求人施設、看護職を目指す方を応援しています。是非、ご利用ください。(予約は不要)



★ 看護職届出制度

ナースセンターへの届出はお済ですか?

看護職の方は、離職したとき等にはナースセンターへ届け出を!

届出者数とナースセンター登録・就職状況

(H27.10.1～H30.6.30)

届出・eナースセンター登録・応募・就職	全 国		徳島県	
	総計	割合	総計	割合
届出数	77,359		666	
うちeナースセンター登録者数	30,953	40.0%	307	46.1%
うち就職者数	6,559	8.5%	111	16.7%

★ 復職研修

復職を考えている看護職の方、復職に不安がある看護職の方は、是非受講してみてください!

看護の現場への復帰に向けて、最新の看護に関する知識・技術を習得できます。

より身近な地域で受講しやすいよう、東部・西部・南部圏域の3会場で開催します。

(平成30年9月～平成31年1月：講義・看護技術演習)

詳しくは、看護協会ホームページ・eナースセンター・どけるんお知らせサイトでご確認ください。参加申込は、ホームページ・郵送・電話申し込みも可能です。

平成29年度は延144人受講〔実人数53人受講で就業者22人〕(H30.3月現在)



★ 就職ガイダンス

オープンホスピタル2018を10月から実施します!

看護職の求職者や看護学生は施設見学をし、施設の概要や業務内容等を知ることで、就職意欲を向上。求人施設も現場で求職者に施設を紹介することは、メリットがたくさんあります!

平成29年度は延40人〔実人数26人参加で就業者14人〕(H30.3月現在)

■ ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）をご存じですか？

日本看護協会は「看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して～」を作成しました。「看護職の健康と安全が、患者の健康と安全を守る」という基本認識のもと、看護職が生涯健康に働き続けられる職場環境づくりを進める必要があるとの考えにより、ヘルシーワークプレイスの実現を目指しています。

■ 訪問看護全県展開応援事業

国の調査によると国民の6割が在宅で最後を迎えるとの結果から、国民・県民の期待に応えるためには、徳島県下どの地域においても訪問看護を享受できる仕組みが必要です。

昨年度は、訪問看護ステーション半田サテライト展開により三好地域の山間部への訪問看護を実施していますが、今年度は、勝浦町で事業を行います。

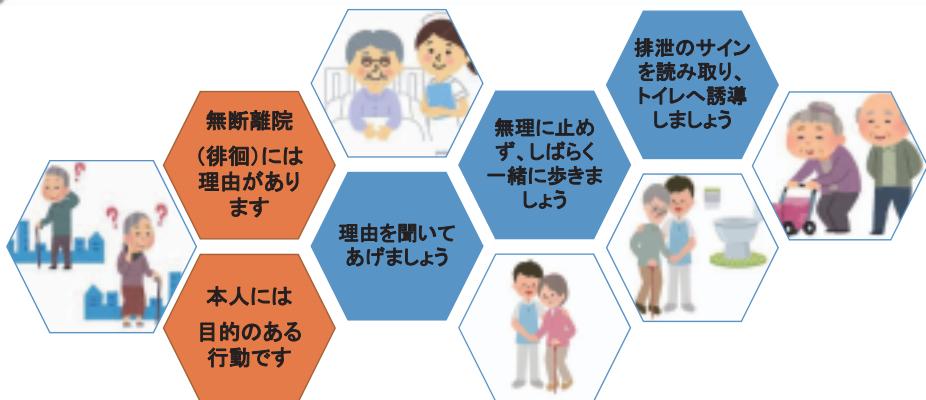
「訪問看護全県展開応援事業フォーラム in 勝浦」(ご案内)

日時：平成30年11月24日(土) 13:30～15:30／場所：勝浦町住民福祉センター3F

■ AWAナースサポートセンター事業

現在、60名の看護職がAWAナースとして登録し、6施設で活躍中です。また、AWAナースの特典として、本会主催の一部研修が無料で受講できるなど看護職の生涯活躍を応援しています。退職間近または退職後の皆様の登録をお待ちしています。

徘徊には目的（探し物） 離院には理由（不安）があります。



徳島県在宅医療提供体制整備事業

第5回 訪問看護普及フォーラム 2018

看取りについて考えてみよう!!

日時
平成30年10月20日(土)
13:30~16:00 (会場受付 13:00~)

会場
ふれあい健康館1階ホール
徳島市沖浜東2丁目16番地

基調講演 (13:35~14:25)

「家で最期まで暮らすために必要なもの」

徳島市医師会在宅医療連携委員長 豊田 健二氏

参加費
無料

パネルディスカッション (14:35~15:55)

「最期を家で看取った事例を通して」

①訪問看護師の役割

公益社団法人徳島県看護協会 訪問看護ステーション徳島 梶田真由美氏

②医療ソーシャルワーカーの役割

徳島県立中央病院 患者支援センター

有馬 信夫氏

③ご家族の立場から

須見 博氏・須見由佳里氏

主催 公益社団法人徳島県看護協会 徳島県訪問看護支援センター

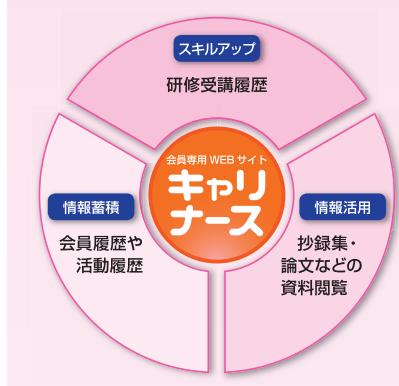
共催 徳島市/徳島県訪問看護ステーション連絡協議会
訪問看護ステーション連絡協議会中四国ブロック会後援 徳島県/徳島県医師会/徳島県歯科医師会/徳島県薬剤師会/徳島県理学療法士会
徳島県作業療法士会/徳島県栄養士会/徳島県介護支援専門員協会/徳島県社会福祉協議会
徳島県地域包括ケアシステム学会/徳島新聞社

会員専用WEBサイト 「キャリナース」 のご案内

キャリナースは、経験を積んでキャリアアップしたい看護職の皆さまを応援します！

日本看護協会では、会員の皆さまのキャリア構築を支援する会員専用WEBサイト「キャリナース」を提供しています。

キャリナースでは、電子会員証の表示、会員情報の変更、会員情報の確認、研修受講履歴の確認ができます。抄録集・論文などの資料閲覧もできますので、是非ご活用ください。



編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様、ありがとうございました。今号は「輝く戦士ナースマン」の活躍を紹介しています。今後も皆様が身近に感じる話題を提供していけたらと思っております。

(広報出版委員一同)